

第14回 高齢者と保育園児の

# ふれあいミニ運動会

走れ 飛べ 手をつなぎ 異世代間のふれあい

高齢者と保育園児の「ふれあい」によって、明るい家庭づくりや地域づくりを推し進めることを目的に、先月21日、今年で14回目を迎える『ふれあいミニ運動会』が、村民体育館で行われました。高齢者の皆さんと園児たちは、和気あいの雰囲気の中、「大玉おくり」や「ちんちん電車」などのレクリエーション種目で交流を図っていました。



赤組応援団長の  
治田辰次郎さん(和納12区)



白組応援団長の  
藤田民夫さん(石瀬)

早くメダルをもらって、  
さあつぱだちにバトンタッチだ!!  
種目:リレー競走



▲「カーブをうまく曲がって、急げ〜!!」 種目:ちんちん電車



▲岩室民謡会の生バンドで踊った岩室音頭



▲「それっ!!頼むよおじいちゃん!!」 種目:大玉おくり

# 『敬老会と福祉の集い』

今年も盛大に開催!!

みんなで活力ある長寿社会を築こう

新しい福祉の時代を迎え、誰もが健康で生きがいを持った生活が送れるような、希望に満ちた村づくりを推進するために、福祉に対する理解と関心を深めてもらおうと、今年も9月30日、村民体育館で『敬老会と福祉の集い』が行われ、593名の高齢者が参加しました。式典



▲坂爪村長から記念品を受け取る榊久子さん(間瀬3区)

では坂爪村長のあいさつや三富村議会議長らの祝辞があり、75歳以上の長寿者1,211名の皆さんに記念品が贈られました。引き続き行われたアトラクションでは、村内の団体による踊りや歌などが次々に披露され、参加者から大きな拍手が送られていました。



▲長寿者を代表してよここびの言葉を述べる遠藤元旦さん(夏井)



▲岩室民謡会の皆さん「岩室よさこいソーラン(新作舞踊)」



▲間瀬民謡愛好会の皆さん「ふるびら踊り」



▲横曽根三葉会の皆さん「大井追(かけ音次郎)」

# 《岩室甚句》の歌声 華やかに共演

第14回岩室甚句日本一全国大会開催

コミカルな囃子と独特な節まわしで全国に唄われ、親しまれている『岩室甚句』の次世代への継承を目的として、先月5日、『岩室甚句日本一全国大会』が農村環境改善センターで行なわれ、予選を通過した77名が自慢の“のど”を披露しました。白熱した演技の結果、見事日本一の栄冠を手にしたのは名古屋市から出場の剣持雄介さんでした。なお、2位には中静ヒデ子さん(越路町)、3位には川田国次さん(新津市)がそれぞれ選ばれました。



いきいき笑顔で  
元気に発表!!

# 老人芸能大会開催

先月10日、公民館講堂において老人クラブによる芸能大会が行なわれ、14クラブ113名の皆さんが日頃の練習の成果を披露しました。当日は会場が観客で満員になるほどの大盛況。熱気ムンムンの中、踊りやハーモニカ、カラオケなどバラエティーに富む題目を、出演者たちは真剣に、そして楽しみながらステージ上で演じていました。



# 「名族・小国氏発祥の地」の記念碑 小国町に建立!

8月30日、刈羽郡小国町に「名族・小国氏発祥の地」の記念碑が建立され、除幕式が行われました。

小国氏は清和源氏の流れを汲み、鎌倉時代に刈羽郡の小国保に住し、地名によって小国氏と名乗ったことから始まったもので、その後岩室の石瀬に移り、天神山城を本拠としたことから、岩室村にもかわりあいの深い名族です。

今回、岩室村、大字石瀬、大字岩室をはじめいくつかの団体、個人が記念碑建立の趣旨に賛同。除幕式には、小国氏直系の大国昌彦さんをはじめ、その親族の方々、町内外など数百名もの参加者が集まりました。当村からも石瀬の和田海陽さんら6人が参加。除幕は4人で行われましたが、その1人に岩室の渡辺紀夫さんが名を連ね、大きな拍手を受けながら幕が引かれました。記念碑は、小国町延命ヶ原の小国森林公園の一角に、高さ4メートルの堂々たる姿を見せ、台座には碑文が刻まれています。

式は経過報告、式辞、祝辞と続き、その後、懇親のうちに語らいが続き、感動の中に終了。この式典は、事務局長高橋実さんをはじめ、関係者、協力者の汗の結晶であり、また小国氏の生き方を讃えるものでもあり、歴史の一頁を飾るにふさわしいものとなりました。

